



盛り上がってます

# 碁・将棋

**碁・将棋を始める人が増えています**

将棋の中学生プロ棋士、藤井聡太さんが連勝記録を樹立し、羽生善治さんと井山裕太さんがそれぞれ将棋と囲碁で偉業を成し遂げ国民栄誉賞の受賞が決まるなど、大いに話題になった囲碁・将棋に興味を持った人はたくさんいるでしょう。

実は、市は囲碁・将棋に縁が深いことを知っていますか。全国のプロ棋士約600人のうち、市に縁のある棋士は12人います。市内にはたくさんの方々が、将棋クラブがあり、過ごしやすいう季節には公園に将棋好きが集まり、青空将棋を指す姿も見られます。市はとも囲碁・将棋の盛んなまちなのです。

囲碁・将棋は戦略的なゲームで、思考力や分析力が養われるのももちろん、対局は礼に始まり、礼に終わる作法があり、礼儀や社会マナーを学ぶことができます。市は、寝屋川囲碁将棋連盟と連携し、囲碁・将棋教室を開催しています(詳細は4ページ)。

「囲碁・将棋に興味はあるけれど、やり方が分からない」「子どもからやってみたいと言われているけれど、何から始めたらよいか分からない」「そんな人に、市内で行われている取り組みを紹介します。趣味に、「コミュニケーションに、いずれはプロ棋士に…」さあ、始めてみませんか?

囲 文化スポーツ室



# 囲碁・将棋で

# 礼儀礼節を

# 学ぶ

礼に始まり



必ず挨拶

お願い  
します



負け  
ました

素直に言う、恥ずかしくない

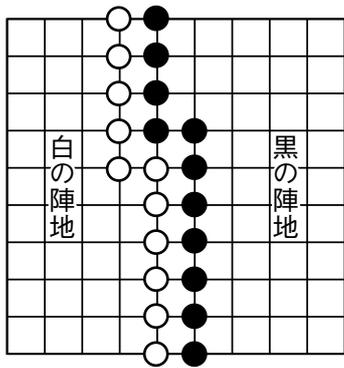
礼に終わる



また、一緒にやろう

ありがとう  
ございました

## 囲碁のルール



一言で言えば、「陣取りゲーム」です。黒と白の碁石を交互に打ち、最終的に黒の陣地と白の陣地を比べて大きいほうが勝ち、小さいほうが負けとなります。上の図だと、黒の陣地のほうが多いので、黒の勝ちになります。

※「ねやがわメソッド」は、寝屋川囲碁将棋連盟のホームページ「囲碁将棋の街 寝屋川」からダウンロードしてください。

90分で囲碁が理解できる「ねやがわメソッド」をみんなで作りました。一度読んでみて！

勝間 史朗さん(囲碁プロ棋士七段)

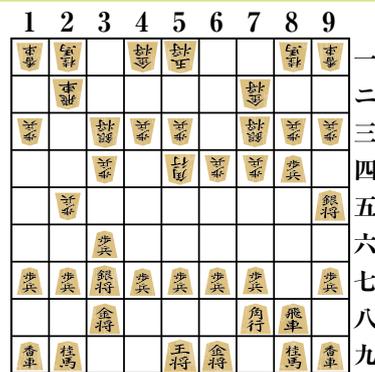


将棋は脳のスポーツです。楽しもう！

山本 真也さん(将棋プロ棋士六段)



## 将棋のルール



駒を交互に動かして、相手の王将(玉将)を取ると勝ちです。駒にはそれぞれ動かし方が決まっており、たくさんの戦略が考えられます。

上の図は「棒銀戦法」と呼ばれるメジャーな戦法です。銀と飛車が協力して相手を攻めていきます。自分に合った戦法を覚えて強くなろう。

## 囲碁教室 参加の男の子

すごく楽しい。初めて大人に勝てたときはすごくうれしくて、もっともっと強くなりたいと思いました。



## 将棋教室 参加の女の子

負けると悔しい。でも次は絶対に勝ちたいと思うし、どこが良くなかったのか思い出して、もう同じミスはしないように気を付けています。



## 教室を見に 来ていたお母さん

子どもがすごく集中しているのが感心した。挨拶も自然にできるようになっているし、姿勢も良くなった。一生懸命取り組んでいる姿は本当に応援したくなります。



### 教室の案内

#### 初心者教室

**日時** 2月18日(日)  
午前10時~11時30分

**場所** 市立総合センター4階

**対象** 親子(2人1組)

**定員** 囲碁将棋各40人20組  
(申込順)

**参加費** 無料

**申込** 寝屋川囲碁将棋連盟  
**問** ☎800・6802

**親子囲碁・将棋  
初心者1日教室を開催します**  
寝屋川囲碁将棋連盟と協力し、小・中学生の初心者を対象とした囲碁将棋教室を開催します。ルールが分からない初心者の方も、気軽に参加してください。



勝間 史朗さん  
(囲碁プロ棋士 七段)

### 囲碁のプロ インタビュー

目の前のことを処理する力だけではなく、創造性を身に付けて

勝間さんは、小学校6年生の頃、祖父の影響で囲碁を始め、その面白さにのめり込み、自然とプロ棋士になろうと考えたそうです。  
「囲碁はどう打つても本当に自由。戦略を自分で考え、組み立てる面白さがあります」  
囲碁のルールは一言で言うところ「陣地取り」で、そのほか細かいルールを除けば非常に自由なゲーム。「○○か××どちらを選ぶ?」というように

選択を繰り返し替えていくゲームではなく、自分で戦略を作り、対戦相手の戦法や力量、表情などを読み取り、状況に応じて更に作戦を組み立てていく「創造性」がとても面白いと語ります。  
「自ら何でも取り組める人間になって」  
子どもたちに囲碁を教えるとき、勝間さんは礼儀礼節はもちろん、囲碁の創造性を身に付け、「何でも自主的に取り組める人」を目指して欲しいと



考えて指導しているそうです。  
「好きなこと、熱中することをおススメしてください!」  
プロを目指す子どもたちに、熱いエールを送ってくれました。

### 将棋のプロ インタビュー

相手の思考や気持ちを考えるきっかけに



山本 真也さん  
(将棋プロ棋士 六段)

山本さんは、小学校1年生の頃、父親に教わったことをきっかけに将棋を始めたそうです。その後、苦勞を重ねてプロ入り勝ち取ったとのこと。  
「子どもたちはどこが難しいと考えるのか、どこに引っ掛かるのか常に考えます」  
指導者として、突飛な発想にも喜んで付き合っていることはとても楽しく、また新たな発見に

もつながると話します。  
「やっぱり、楽しく学んでほしいですね」  
山本さんの指導は、子どもたちがなるべく退屈しないよう、軽い口調であったり、拳手や前に出て来ての発表を求めるなど、工夫が凝らしてありました。とにかく楽しく、技や戦法を一つでも学んでくれたら、という思いが込められています。  
「相手のことを考えるきっかけに」  
将棋を通して、対戦相

手は何を考えているのだろうかという考えを身に付けて欲しい、将棋がそのきっかけになれば、と語ります。  
「何度も何度も、諦めずに立ち向かって!」  
勝ち負けをはっきりつける、特に負けることを経験するのはとても辛いこと。しかし、とても大事なことで、それを乗り越えて強くなつてほしい、と言葉を送ってくれました。



たくさん  
の場所  
で

# 囲碁・将棋が

行  
わ  
れ  
て  
い  
ま  
す



## 小・中学校での活動

小・中学校の放課後活動などで  
囲碁・将棋が行われています。寝  
屋川囲碁将棋連盟の講師が指導を  
行う日もあります。



## 各施設で行われ ている教室

市民会館、エスポアール、  
学び館などでも教室が  
開かれています。  
☎ 寝屋川囲碁将棋連盟  
(☎800・6802)

## 市民・サークル団体、講座

市内で活動している市民サークル団体や講座があります。  
詳しくは「生涯学習情報誌(団体・サークル編 講座・イベン  
ト編)」をご覧ください。情報誌は市役所市民情報コーナー、  
各シティ・ステーションなどにあります。  
☎ 社会教育課(☎813・0076)



さあ、始めよう!



指導者の皆さんと教室に参加している子ども達